

2020年3月15日 NO.55-11 受難節（レント）第三主日

《開会 午前10時30分》		—礼拝式順序—	
※は一同ご起立下さい。		司式	吉田謙牧師
		奏楽	S執事
前 奏			
礼拝への招き	フィリピの信徒への手紙3章13節後半～14節		
挨拶			
※賛 美	詩編歌121		
祈 禱			
罪の告白			
静 思			
赦しの宣言			
平和のしるし			
※賛 美	333		—神の招き—
照明の祈り			
聖書朗読	創世記19章1節～29節（旧約25頁）		
説 教	「審きと救い」		
祈 禱		吉田謙牧師	
静 思			—神の言葉—
※賛 美	291		
※信仰告白	ウエストミンスター小教理問答 問20（週報裏面）		
※使徒信条			
献 金	T姉妹・G姉妹・Y兄弟		
執り成し		吉田謙牧師	
主の祈り	（週報裏面）		—感謝の応答—
※頌 栄	544		
※祝福と派遣	吉田謙牧師		
※アーメン三唱	40-5（讚美歌21）		
報 告	礼拝当番 I執事・U姉妹		—派 遣—

※体調のすぐれない方は座席についたままで礼拝にご参加ください。

《罪の告白と赦し》

罪の告白への招き

司式 罪人である私たちを、神様はなお憐れみをもって招いておられます。
ですから、今、私たちは、神様の御前に入るにあたって、
自らの罪を、へりくだりと信仰をもって、神様に正直に告白いたしましょう。

罪の告白

司式 一同で罪の告白をいたします。
一同 とこしえにいます父なる神よ。
私たちは御言葉を悟らず、不信仰に傾き、
自分の力によっては御心にかなうことのできない
罪人であることを告白します。
今、あなたの御心を痛めたことを悔い、
あなたの憐れみを呼び求めます。
どうか、御子イエス・キリストのゆえに、
私たちをお赦してください。
そして、聖霊の導きによって
正しい道を歩むことができる者とならせてください。

キリエ・エレイソン 讃美歌 32番（讃美歌21）

一同 主よ、あわれみを。主よ、あわれみを。主よ、あわれ――みを。
司式 しばらく目を閉じて、一週間の歩みを振り返り、それぞれ犯した罪を思い起こしましょう。そして、その罪を心から悔い改め、その赦しを神様に願い求めたいと思います。しばらく心静まる時間を持ちます。（40秒）

赦しの宣言

司式 良き知らせを聞きなさい。
だれが罪を裁き、罰を与えることができるでしょうか。
律法をつくられたお方、律法を完全に守られたお方、
イエス・キリストお一人だけです。しかしこのお方は、私たちの罪のために
十字架にかかり、罪に勝利して復活されました。いまも世界を支配し、
いまも私たちのために執り成しの祈りをささげておられます。
キリストにある者はだれでも、新しく造られた者です。
古い命は過ぎ去り、新しい命による歩みが始まりました。
あなたがたの罪が赦されたことを信じ、平安でありなさい。

一同 アーメン。

グロリア（讃美歌21 38番）

グロリア グロリア イン エクセルシス デオ
グロリア グロリア ハレルヤ ハレルヤ

※グロリア イン エクセルシス デオ（ラテン語で「いと高きところには栄光、神にあれ」の意味）

平和のしるし

司式 神がキリストにあって私たちを赦してくださいました。私たちも互いに赦しあいましょう。
主イエス・キリストの平和があなたがたと共にありますように。

一同 アーメン。

今日の集会

- ◇教会学校 9:30~10:15
 〈司会〉 Y先生
 〈お話〉 H神学生
- ◇成人学級 10:00~10:20
- ◇H神学生送別会 礼拝後
- ◇コーヒーブレイク・聖書発見学習 休会

《前週統計》

2020/3/8		男性	女性	男児	女児	合計	
集	礼 拝	12	26	1	2	41	
	祈 禱 会	3	5	1	2	11	
	求 道 者 会	2	4	0	0	6	
	オリーブキッズ	—	—	—	—	—	
会	礼拝の恵み	—	—	/	/	—	
	教 会	成人科	8	12	/	/	20
統	会	幼稚科	3	5	0	2	2
	学	小学生	/	/	1	0	1
	校	中高生	/	/	0	0	0
計	礼 拝	33, 600					
	献 金	教会学校				2, 000	

今週の集会

- ◇祈 禱 会 3月18日(水) 午前10時30分～ ライブ配信 ペトロの紙一の学び
- ◇相 談 日 3月18日(水) 午後2時～5時 牧師相談日
- ◇求道者会 3月19日(木) 午前10時30分～ 休会
- ◇家庭集会 3月19日(木) 午後1時～ 休会

次週の集会 (3/22) 受難節(レント) 第四主日

- ◇教会学校 〈司会〉 U先生
 〈お話〉 S先生
- ◇成人学級 〈担当〉 吉田謙牧師 午前10時～10時20分
- ◇礼 拝 〈説教〉 吉田謙牧師「神の御業の前進」
 〈聖書〉 創世記21章1節～21節
 〈旧約聖書〉 簡易礼拝のため省略
 〈新約聖書〉 簡易礼拝のため省略
 〈讃美歌〉 詩編歌121・262・290・539
 〈司式〉 吉田謙牧師 〈奏楽〉 K姉妹
 〈献金〉 G姉妹・Y兄弟・T姉妹
 〈礼拝当番〉 I執事・U姉妹
- ◇男子会・婦人会・青年会 休会 ◇婦人会の食事も中止です。
 * 吉田牧師は午後から滋賀摂理教会に出張です。

お知らせ

- ◇M執事のお父様が天に3月9日に天に召されました。葬儀は3月14日(土)に本郷台教会で執り行われました。悲しみの中にあるご遺族のためにお祈りください。
- ◇新型コロナウイルス感染症予防のため、主の日の礼拝に出席するのが困難になる可能性があります。主日礼拝のライブ配信を開始しましたので、礼拝に出席できなくなった時には、自宅でライブ配信を見ながら共に礼拝を捧げましょう。なおライブ配信は教会のホームページから見る事が出来ます。スマホでも見る事が出来ます。
- ◇水曜日の祈禱会もライブ配信を始めました。希望される方は牧師まで申し出てください。
- ◇4月5日(日)より一年間、K神学生(4年生、鈴蘭台教会会員)が派遣神学生として当教会に出席なさいます。どうぞ、よき交わりをお願いします。
- ◇3月16日の婦人会有志の掃除、及び3月29日の婦人会バザーは中止になりました。
- ◇ラジオ伝道番組「キリストへの時間」(ラジオ関西 558KHz 日曜日午前7時30分～45分)を聞きましょう。3月22日放送予定：金度亨先生(小倉伝道所)「大變だ、大切な一枚の銀貨をなくしてしまった」
- ◇掲示板
 * 大会執事活動委員会より「新型コロナウイルス感染症に伴う注意喚起」が届いています。

- * 西部中会中高生会春期修養会の案内が届いています。参加費：13,000円（3/15締切）
日時：3月31日（火）～4月2日（木）会場：南あわじ市サイクリングセンター
講師：高内信嗣先生（山田教会） テーマ「パプリカ！ハレルヤ！みんな金メダリストだ！」
- * 全国青年リトリートの案内が届いています。日時：2020年5月4日（月）-6（水）
場所：雀のお宿キリスト教会館 講師：山浦裕子姉妹（神戸改革派神学校牧会77-アシスタント）
参加対象：30歳～49歳 スタッフ参加：18歳～29歳

3月の祈禱課題

- ① 神学校のために。 ② 新型コロナウイルス感染症予防のために。 ③ 加入された方々を覚えて。
- ④ 受洗準備中の方々のために。 ⑤ 昨年受洗された方々を覚えて。 ⑥ 闘病中の方々を覚えて。
- ⑦ 中会のために。 ⑧ 川島利子姉妹のために。 ⑨ 人生の岐路に立つ青少年たちのために。
- ⑩ 求道者の方々を覚えて。 ⑪ 年間教会標語「教会に生きる喜び」
- ⑫ 豪雨災害、大阪北部地震、北海道地震、熊本地震、東日本大震災の復興のために。
- ⑬ 滋賀摂理教会・千里山教会・園田教会・神戸長田教会・恵泉教会・板宿教会・南与力町教会のために。
- ⑭ 3月生まれの方のために（稲野洋子姉妹、倉田十五兄弟、倉田保子姉妹、林山里子姉妹、日置保志兄弟、藤永圭子姉妹、吉田謙牧師、安東俊太くん、玉野厚輝くん）

今月の掃除当番 稲野洋子姉妹・小林芙美子姉妹・武田美姉妹・林貞子姉妹

【本日の聖書日課のテーマ】「受難の予告」

旧約聖書 ヨシユア記24章14節～24節：決断の表明

新約聖書 ヨハネによる福音書6章60節～71節：永遠の命の言

「あなたこそ神の聖者であると、わたしたちは信じ、また知っています」（ヨハネ6:69）

言葉は情報であると共に、行為でもあります。それを聞くことによって、その言葉は私たちに何らかの反応を求めます。何の反応もしないということも、一つの反応です。主イエスの受難予告はそれを受け入れるかどうか、信じるかどうかという決断を私たちに迫ってくるのです。そして、それを受け入れる人と受け入れない人とを二分するのです。弟子たちの中でも、主イエスの「わたしは天から降って来たパンである」（ヨハネ6:41）という言葉を受け入れる者と受け入れない者の分裂が起ってしまいました。この言葉に憤慨し、信じられない弟子は主イエスから離れてしまい、これを「永遠の命の言葉」と告白した弟子だけが主イエスの元に残ったのです。

主イエスの問いかけに答えたペトロの言葉が「あなたこそ神の聖者であると、わたしたちは信じ、また知っています」です。ペトロをはじめとする十二弟子が本当にそのように思っていたかどうかは、この後の福音書の展開から必ずしも実証されません。主イエス自身も「その中の一人は悪魔だ」（70節）と語っています。しかし、この言葉は私たちの信仰の本質を伝えてくれていると思います。私たちはまず信じるという決断を通して、その信仰の内容が真実であるという認識へと導かれていくのです。まず「信じる」ことから始まります。しかし、それは認識から信仰へと至ることを否定するものではありません。信じたものだけが救いを経験するのではなく、救いを経験することを通して信仰へと至ることもありうるのです（ヨハネ16:30）。いずれにせよ前提として、主イエスが自らを啓示してくださらなければなりません。主イエスが語ってくださらなければ、私たちは聞くことができないのです。主イエスの啓示は、私たちに決断を迫ります。そして、その出来事は私たちが信仰に至る経験へと、信仰から経験へと至る道を備えてくれているのです。その道の導き手は「あなたがた十二人は、わたしが選んだのではないか」と恵みの先行を語るイエス・キリストです。

受難節の中で主イエスの受難予告を聞くことは私たちの決断を促します。私たちの信仰の決断によって、「キリストがわたしの内に生きておられる」（ガラテヤ2:20）生活へと導かれていくのです。

ウエストミンスター小教理問答

問20 神は、全人類を罪と悲惨の状態のうちに滅びるままにして
おかれたか。

答 神は、ただよとされるままに、永遠からある人々を永遠
の生命に選び、あがない主によって彼らを罪と悲惨の状態
から救い出し、救いの状態に入れるために、恵みの契約を
結ばれた。

使徒信条

われは天地の造り主、全能の父なる神を信ず。
我はその独り子、我らの主、イエス・キリストを信ず。
主は聖霊によりてやどり、処女マリヤより生まれ、
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、
十字架につけられ、死にて葬られ、陰府にくだり、
三日目に死人のうちよりよみがえり、天にのぼり、
全能の父なる神の右に座したまえり、
かしこより来りて生ける者と死ねる者とを審きたまわん。
我は聖霊を信ず、聖なる公同の教会、聖徒の交わり、
罪の赦し、身体のよみがえり、永遠の生命を信ず。アーメン。

主の祈り

天にまします我らの父よ、
ねがわくは、み名をあがめさせたまえ。
み国を来らせたまえ。
みこころの天になるごとく、地にもなさせたまえ。
我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。
我らに罪をおかす者を、我らがゆるすごとく、
我らの罪をもゆるしたまえ。
我らを、こころみにあわせず、悪より救い出したまえ。
国と力と栄えとは、
限りなく、なんじのものなればなり。アーメン。